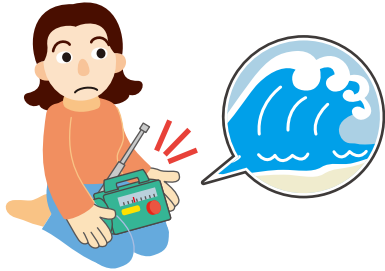


津波に対する心得

心得その1 強い地震（震度4程度以上）を感じたとき、または弱い地震であっても長い時間ゆっくりとした揺れを感じたときは、直ちに海浜から離れ、急いで安全な場所に避難する。

心得その2 地震を感じなくても、津波警報が発表されたときには、直ちに海浜から離れ、急いで安全な場所に避難する。



心得その3 正しい情報をラジオ、テレビ、広報車などを通じて入手する。

心得その4 津波注意報でも、海水浴や磯釣りは危険なので行わない。

心得その5 津波は繰り返し襲ってくるので警報、注意報解除まで気をゆるめない。

心得その6 津波は河川をさかのぼり、堤防を越えることもあります。海から離れていてもいつでも避難できるようにしてください。

あわてず、まず身の安全を!!

緊急地震速報のリーフレットより

家庭では

- 頭を保護し、じょうぶな机の下など安全な場所に避難する。
- あわてて外へ飛び出さない。
- むりに火を消そうとしない。



自動車運転中は

- あわててスピードをおとさない。
- ハザードランプを点灯し、まわりの車に注意をうながす。
- 急ブレーキはかけず、ゆるやかに速度をおとす。



人が大勢いる施設では

- 係員の指示にしたがう。
- あわてて出口に走り出さない。



屋外(街)では

- ブロック塀の倒壊に注意。
- 看板や割れたガラスの落下に注意。



バスでは

- つり革、手すりにしっかりつかまる。



エレベーターでは

- 最寄りの階に停止させすぐにおりる。



地震の揺れを感じたら

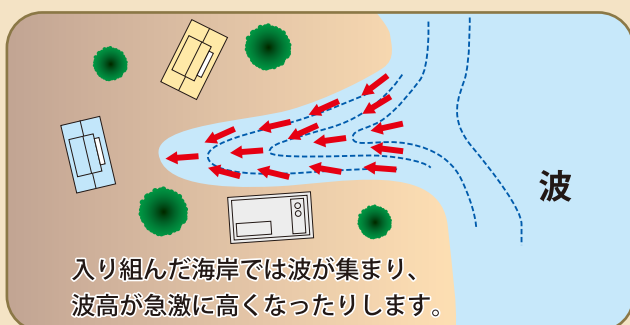
緊急地震速報を見聞きしたら

津波の特徴

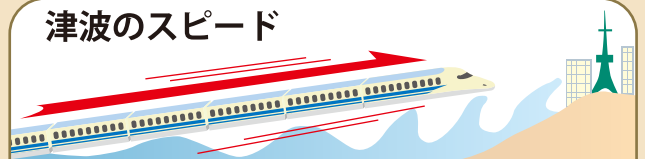
Point 1 引き潮から始まるとは限りません。 **Point 2** 繰り返し襲ってきます。

Point 3 すばやく襲ってきます。

Point 4 すさまじい破壊力を持っています。



津波のスピード



沖では時速約700kmの速さで、岸に近づいても新幹線なみの時速約250km（1秒間に70m進む速さ）で押し寄せてきます。